

トムトム通信



目次

新理事長おに挨拶	1
もうすぐ夏！	6
お祝い	8

理事長就任のご挨拶

私たちの子どもと、 次の時代の人たちのために

理事長 田尻 敏明

こんにちは、はじめまして、今年度より理事長になりました田尻と言います。長男である和之がトムトムのお世話になっております。月日が経つのは速いもので、トムトムの会員になって4年が過ぎようとしています。最近、和之の進学や就職のことを必然的に考えるようになりました。昨年度から副理事長として、トムトムの活動を通して障害福祉のことを少しずつではありますが知識が増えるようになってきましたが、知識が増えれば増えるほど、たくさん問題点を抱えている現在の障害福祉の社会に、不安がつのるだけでした。そこで少しでも早く、私たちの子どものためにも、次の時代の人たちのためにも、新しい充実した障害福祉の社会を創らなければいけないと考えるようになりました。

そこで、まず今年度は、次の項目から着手したいと考えております。

- (1) 来年度から支援費制度の導入が始まるため、トムトムが指定事業者になること。
- (2) パーソナル・サービスの向上。
- (3) トムトムの経営の安定性を図り、トムトムが存続できるようにすること。
- (4) 行政との交渉により、総合的な障害福祉の充実。

上記の(1)・(2)につきましては、トムトムが指定事業者になることでトムトムを利用しやすくしサービス向上を目指したいと考えております。(3)の問題点については、現在のトムトムは毎年寄付がなければ経営が成り立たず、今年もコンサートなどによる寄付を考えたり、会員を増やすことも考えておりますが、根本的な解決にはなりません。そこでトムトムの存続をさせるには、

(4)の行政との関わり方が重要になってくると思います。少しでも行政からの支援があれば、トムトムの経営の安定につながります。また、行政にも動いてもらわなければ、次の時代へつなげることができません。数は力です、新しい理事と会員の皆さんのご協力いただき、より良い障害福祉の社会を創りあげましょう。

P. S

行政を動かすには、お母さん方の力は今まで同様に借りなければなりません。お父さん方の力も借りたいと考えております。是非トムトムの”親父の会”の宴に出席してみてください。



去る5月24日(金)、茅ヶ崎市女性センターにて02年度法人運営総会が開催されました。このなかで全ての議案が承認され、法人として2年目、事業開始から4年目の年度をスタートさせることとなりました。今年度の事業計画を利用者サービスに関する部分を主に抜粋してお伝えします。

0. 現状認識と方針

事業開始から3年を経過し、利用の増加による支出増により経営困難な状況が明確化しています。この状況に対してトムトムは、利用会員の人数制限を行うのではなく、サービス提供体制をさらに強化しながら事業の社会性を維持していく方向を目指します。そのためにトムトムへの様々な要望を整理し、それぞれについて利用者の要望を第一としながら効率的にサービス提供を行うことを今年度の目標として掲げ、次の事業を行います。

1. 継続事業

1) 「パーソナルサービス」：利用者個々の事情と要望に24時間365日体制で応えるためのサービスとして、継続して行います。ただし職員対応については、マンツーマン対応すべき内容と、小集団対応に適した内容を

利用者の要望に応じて明確に分け、従来のマンツーマン対応にとらわれず、より多くの会員に満足度の高いサービスを提供できる体制をつくります。

- 2) 「夏のイベント」：主に学齢児の夏期休暇支援事業として、休暇期間中週2回のペースで開催します。
- 3) 「週末イベント」：週末の余暇支援事業として年間9回、開催します。

2. 改編事業

「小学生のための学童クラブ」：放課後の時間を家庭以外の場所で安全に楽しく友達といっしょに過ごす場所を、火曜日・金曜日の週2回、下校時～17時まで提供します。昨年度までは、流動メンバー・マンツーマン体制・外出中心で行ってききましたが、パーソナルサービス予約の断りをなくし、学童クラブを希望する会員の確実な利用を可能にするために、完全メンバー固定制・小集団対応・事業所内での「居場所づくり」を目標に変更して行います。送迎付きです。

3. 新規事業

- 1) 「中学生のための学童クラブ」事業
放課後の時間を家族の過重な負担なく楽しく過ごすために、小学生同様、中学生に対しても放課後支援事業を行います。木曜日実施、月2回程度企画を設定します。13～18時まで、送迎付きです。
- 2) 「宿泊体験イベント」事業
緊急対応ではなく余暇活動の意味合いを持たせた事業所での宿泊体験イベントを、年間5回企画します。新たな利用ニーズの掘り起こしと成人会員の利用促進、利用の閑散時間帯(＝夜間・午前中)の有効活用をねらいます。
- 3) 「週末の遊び場」事業(対会員・非会員事業)
学校週5日制実施に伴い、障害のある会員・非会員に対し週末の新たな「居場所」として隔週午後「トム2」をオープンスペースとして解放します。利用料は無料(実費徴収あり)で、管理者として職員1名を配置します。当面は保護者同伴・障害のある方のみを対象に行いますが、地域の障害のない子どもたちにも同時に解放する事を目指します。またボランティアとして関わってくださる方々を募ります。
- 4) 成人会員獲得キャンペーン事業(対非会員事業)
現在44名中5名である成人会員を年度内に3名増加を目標に新会員獲得のためのキャンペーン事業を行います。

4. 検討事業

支援費支給対象となる「ホームヘルプサービス」と、現在トムトムが提供しているサービスの一部分は合致する内容と考え、支援費サービス提供事業者(＝「指定事業者」として神奈川県より指定を受けることを目指して検討・準備を行います。

■トムトムが現在のサービスの一部を支援費制度内で提供することの利点

- A. 利用者の利用料負担軽減：支援費支給認定を受けたサービス内容については、現在全額利用者負担となっているサービスと同等のサービスを、比較的廉価で利用者に提供することができます。
- B. 社会的認知度を向上させることができる：会員にのみならず社会の一資源として認知されれば、現在公的制度外とされているサービス内容(例えば児童の余暇支援など)についても、制度内で提供できる可能性がでてきます。
- C. 経営の安定：支援費が収入として見込めるようになると、ある程度の経営安定をはかることができます。

(文責・山本)

多くの利用を得て、01年度は無事終了しました。利用が増加していくなか、支援体制を質・量的にどう確保するか、新たな課題にも直面しました。

00年度と比較した場合、会員数・総利用時間数は漸増でしたが、利用件数が1割強増加しました(表1・図1参照)。このことは、短時間の利用が同一時間帯(学童児会員が大半であるため平日午後)に集中する事を意味し、非常勤職員の動員が大幅に増加する結果につながりました。このため非常勤職員として計5名を増員し、02年3月時点では常勤3名、非常勤職員13名、ボランティア登録者約80名でサービスにあたっています。また、送迎利用要望の増加に対し、カンパを募ってリフト付きワゴン車1台、日本財団より助成を得てスロープつき軽自動車1台、計2台を購入しました。

利用の内容については(図2参照)、利用者個別の要望に応える「パーソナルサービス」の他に、事業所側の企画(毎週火・木曜日に行う小学生対象の「学童クラブ」、週末の「イベント」、夏期休暇間の「夏休みイベント」)も実施し、特に「夏休みイベント」には多くの参加要望がありました。(文責・山本)

表1・平成13年度(2001年度)利用件数・時間他

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3/21 ~31	合計	月平均	昨年度比
利用件数(件)	127	158	194	212	204	203	185	200	213	141	212	205	67	2264	188.7	113%
延べ利用時間(時間)	553	571	583	766	1270	965	656	679	760	656	681	766	426	9332	777.7	105%
1件あたりの平均利用時間	4.4	5.7	3	3.6	6.23	4.8	3.5	3.4	3.6	4.7	3.2	3.7	6.36		4.313	97%
登録利用者数(人)	43	45	46	46	47	47	48	48	48	48	48	48	48	48		109%

★計算期間について:4月は1日~20日、その他の月は前月21日~当月20日までの合計。

図1 2001年度利用件数・延べ利用時間の推移

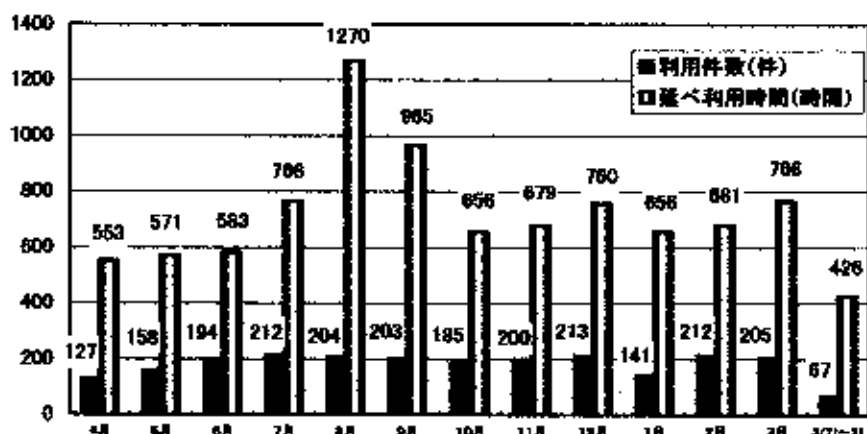
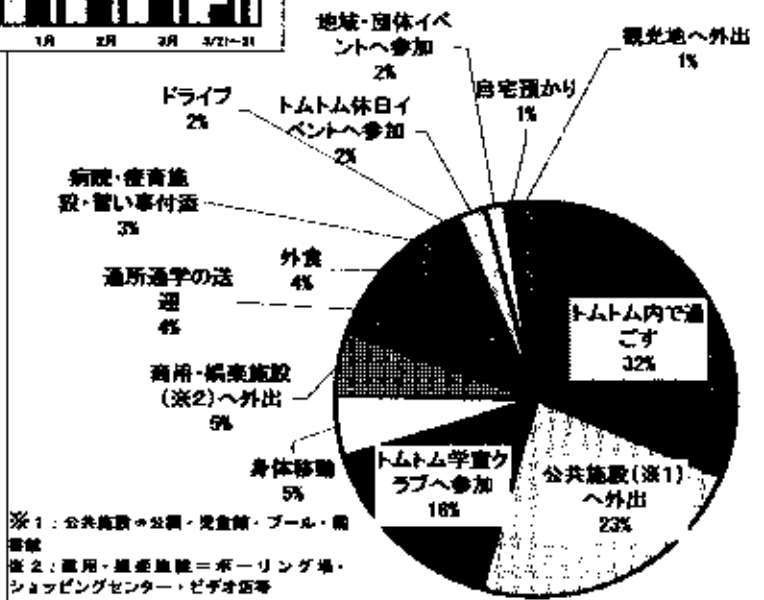


図2・利用内容→
(01年11月1日~30日の場合)



どのように昨年度を乗り切ったのか、今年度はどんな覚悟で突き進むのか、財政状況を事務局長・藤田のコメントと共にご報告します。

貸借対照表 (02年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
【資産部】	2,891,458	【負債部】	181,848
現金	62,588	支払手形	18,188
小口現金	120,712	預り金	102,888
繰上り金	209,576	繰上り金	181,848
繰下り金	80	資本の部	
繰下り金2	831,388	【基本金】	1,000,000
繰下り金3	772,488	基本財産基金	1,800,000
繰下り金4	58,044	【準備金】	2,282,371
立替金	2,488	人件費積立金	2,282,371
未収金	1,282,248	うち前年度繰上り	1,861,281
前払費用	248,248		
【固定資産】	1,682,568		
【有形固定資産】	1,248,248		
有形固定資産	1,248,248		
【無形固定資産】	434,320		
無形固定資産	434,320		
【流動資産】	236,000		
流動資産	236,000		
負債合計	4,374,018	負債・資本合計	4,374,018

① 2001年度決算報告

上から【経常収入の部】【経常支出の部】とありますね。01年度は収入合計が18,527,431円。支出合計は、16,563,617円でした。この内、トムトム運営の事業収入のみだけを計算して出してみましょ。18,527,431円ー(賛助会員費+寄付金収入+助成金+雑収入) = 14,404,260円。14,404,260円ー16,563,617円 = -2,159,357円(赤字)つまり・・・何が言いたいかというと、トムトムは事業運営のみだけでは継続できていないことがわかります。賛助会員費、寄付金、助成金で2001年度を乗り切りました。

01年度収支計算書

収入の部		支出の部	
【経常収入の部】		【経常支出の部】	
1. 会員・入金会費		総務(常務)	6,428,000
正会員費	219,000	総務(非常務)	3,078,843
会費	80,000	法定福利費	850,668
年会費	4,273,580	厚生費	13,400
別荘費	6,588,720	金庫金雑費	24,471
学費利用料	914,230	水道光熱費	493,370
体育利用料	14,850	予備費	17,800
会議費	2,112,880	印刷費	85,218
雑費	331,870	事務用品費	189,449
賛助会員収入	2,709,077	修繕費	203,248
寄付金収入	1,879,000	水道光熱費	239,871
雑収入	12,024	新聞図書費	17,860
経常収入合計	18,527,431	燃料費	464,289
		リース料	49,350
		雑収入	441,510
		雑費	510,730
		賞状費	2,520,800
		雑費	120,940
		雑費	49,705
		印刷費	9,781
		印刷費	298,745
		雑費	182,260
		洗車什器用品費	72,933
		送迎費と引当金収入	97,500
		渉外費	88,720
		印刷費	78,420
		イベント費	8,290
		戻り金	60,240
		雑費	20,000
		経常支出合計	16,563,617
		経常収支差額	1,963,814
		その他収入収支差額	1,993,814
		【負債部】	
		賞状費	82,433
		特別損失合計	82,433
		特別損失合計	1,281,387
		経常収支差額	1,963,814
		経常収支差額	340,990
		人件費積立金	2,242,371
		人件費積立金	0

02年度収支予算書

項目	収入		支出	
	金額	内容	金額	内容
人件費	10,980,000		正会員・会費	380,000
福利厚生	908,000		年会費	4,180,000
雑費	180,000		利用料	7,770,000
福利厚生	908,000		送迎費	1,250,000
雑費	580,000		賛助収入	1,230,000
雑費	200,000		雑収入	28,000
雑費	300,000		人件費積立金	0
雑品費	250,000		人件費積立準備金	3,000,000
雑品費	50,000		前年度繰上り	0
雑品費	200,000			
雑品費	500,000			
雑品費	100,000			
雑品費	100,000			
雑品費	447,689			
賛助費	2,984,420			
雑費	75,000			
活動支出	50,000			
小計	17,547,520			
予備費	962,081			
合計	18,016,000		合計	18,016,000

② 2002年度収支予算

収入の部は、昨年の利用状況を計算し、平均値を充てました。支出の部で、昨年度よりも人件費が増えているのは、常勤が約半年間1人分増えている分が計算されています。他、支出の部は抑えられる費用は叩いてあります。前後しますが、収入の部で、2001年度までに積立してあった人件費積立準備金を300万円取崩しても足りず、援助収入(賛助会員費+寄付金収入+助成金+雑収入)が今年も133万円は入って来ないと、2002年を乗り切れないという恐ろしい予算書になっています。

③ 経理のぼやき

通常、賛助会員費や寄付金収入は、見逃しがつかない属性をもつ費目です。ですので！普通はこんな金額をいきなり打ち出すのは、小心者の藤田にはおっかないんですよ。ええ、理事会でOKが出ました。総会でも承認されましたよ。ってことはですよ？何が何でも133万円！何らかのアクション起こして集めなきゃいかんです。トムトムが首の皮一枚で継続してる事がお金握ってるとシビア~に感じ取れるんですよ。助けてくださいよ~行政さん。こんなに利用者が増えて需要が伸びてるのに、いつまで知らんぷりなんでしょうか...。(ちょっと怒り気味の藤田でした。)

下のメンバーがこれから2年間 役員としてトムトムの発展を促していきます。また、設立準備よりトムトムをリードしてきた上杉が理事長の役目を降り、渡って障害児の父でもある田尻が就任することとなりました。

トムトム新役員

(任期：02年6月～04年5月末日)

理事長	田尻 敏明
副理事長	鈴木 康治
理事	上杉 桂子
理事	大野 裕子
理事	中村 稔
理事	松尾 紀子
理事	山本 奈央
監事	伊藤 久美子
監事	佐藤 美智代

長になられた田尻さんが中心になって関わる事でのメリットは大きいと思っています。自分の中では今、小さな地域の親の会を作ることから発展していった、トムトム設立までの一連の出来事が、幸運な「人との出会い」、ただそれだけにつきるように感じられてなりません。信じてもらえないかも(?)しれませんが、私は障害児の親として、またトムトムに関わる人間として、「落第だな」と何度も落ち込んだ経験があります。しかしそんな頼りなさが逆に幸いしたのか、多くの方の助力を得て、トムトムは今も荏蒨で健在です。

現在9才になる次男哲郎が、7年前、障害児であると知った時の絶望と悲しみは、利用会員の皆さんとたぶん全く同じものだったと思います。特別にできた親でもなく、「めざせ健常児！」のスローガンのもと、障害を持つ上での生き方や幸せを知らず知らずのうちに否定し、毎日毎日、自分の心に突き刺さった重いくさびを、どうやって引き抜こうかという事ばかり、考えて暮らしていました。哲郎は昨日も今日も何ひとつ変わらないのに、私自身が突然背負った不幸感に、むしろあの子を引きずり込もうとしていたのです。

新理事長より一言

はじめてですが周囲の方々の心強いアドバイスを頼りに何とか頑張りたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

理事 中村 稔(社会福祉法人 翔の会)

社会福祉法人翔の会で、「水平線」という身体障害の方の生活施設の運営を担当しています。今後は成人の在宅身障者や施設入所者の利用も進むよう、役割を広げられたらと思います。一緒にがんばるヨ!

理事 松尾 紀子(職員)

NPO法人になって2年が経ち、引き続き理事をお引き受けすることになりました。トムトムの援助を本当に必要としている多くの人たちに普遍的に使用してもらいたいと願っています。そのためにはまず補助金を受けられるシステムを行政や社協に訴え、一緒に考えていてもらいたいものだと思っています。

理事 鈴木 康治(利用会員)

設立から3年間、トムトムの道を切り開いてくださった前理事長の方々誠に苦勞様でした。その道を広く遠くに伸ばし、雨風地震の時は勇気ある防人となる、そういう人に私はなりたい。

この春で、理事長の任を解かせていただきました。実家の母の痴呆の度が進み、

同居の妹がHELPを出してきたのが直接の交替理由ですが、トムトムにとっても、新しく理事

トムトムに想うこと
前理事長 上杉 桂子

そんな気持ちの重さから逃れたいと、意地も見栄も手伝って、サークル的なお楽しみを使命感にすり替えて、親の会に求めていた時期もありました。4年前の

「障害児サマースクール」がなければ、そんな活動を、自分の中でずっと続けていたかもしれ

ません。サマースクールで、直接感じた子供たちの喜びや関わるスタッフとしての大変さは、初めて得た大きな実感でした。これを継続させることこそ「本物」だという気がしました。もちろん、社会福祉法人「翔の会」の大きな支援も忘れることはできませんが、障害児をかかえる親として、初めて明確な目標に向かった結果としてのトムトムだったのです。

その事は、私の人生にとって非常に大きな出来事でした。同時に、他の多くの方たちにとってもそうだと思います。その思いは時にトムトムを守り、時にトムトムの邪魔をしました。個々の思いに支えられながら、個々のニーズに応えながら、真にトムトムの欲するものは社会的でなければならぬと思っています。なかなかそういう方向に向かえない時もあつたように思います。

トムトムがこうあつてもらいたい、そういう願いは親として、しごくストレートに持っています。「一日でも長く、地域で活動してもらいたい。」その事が過去・現在通して、私が親としてトムトムに関わる最大の理由です。一理事となつても、親の立場で、今までと同じスタンスでトムトムに関わり、新理事長にエールを送りたいと思っています。長い間ご支援下さり、本当にありがとうございました。

ボランティアさん
も
大募集!

いよいよ夏です！夏に備えて職員は、おののきつつもスタミナアップに余念がありません・・・と言うのもトムトムでは学館児会員さんが多いこともあり、夏期は通常の2倍以上のご利用があるからです。今年も会員むけ夏のイベントを下表のとおり14本、企画いたしました。職員の体力が続く限り、しかし安全に、会員の皆さまの夏を強力バックアップさせていただきます。

同時に、このバックアップ作戦にご協力していただける、ボランティアさんも大募集！下のイベント以外の日でも結構です。ご関心のある方は、ぜひトムトムボランティア担当：本間・東へご一報ください。楽しい夏の思い出、トムトムで作らしましょう！

①7月20日(土)	12:00~17:00 (茅ヶ崎駅集合・解散)	県民ホール・ウルトラマンライブステージ 本物のウルトラマンに会いに行く！
②7月26~27日 (金・土)	17:00~翌9:00 (トムトム集合・解散)	平塚花火大会&トムトム宿泊 平塚河川敷での花火にうっとり☆☆☆
③8月1日(木)	12:30~15:30 (茅ヶ崎駅集合・解散)	茅ヶ崎養護学校のプールで泳ごう！ 富士山をバックに泳いでみませんか？
④8月6日(火)	9:30~16:00 雨天11~15:00 (トムトム集合・解散)	藤野・芦川公園で川遊び！ おいしい水&涼気の下でバーベQ！(雨天トムトムでバーベQ)
⑤8月10~11日 (土・日)	17:00~翌9:00 (トムトム集合・解散)	毒川花火大会&トムトム宿泊 広い芝生で見る花火は格別！
⑥8月20日(火)	13:00~17:00 (NANA集合・解散)	藤沢・秋葉台プールで泳ごう！ 売れるプール、室内プールがあります。
⑦8月27日(火)	9:30~16:00 (茅ヶ崎駅集合・解散)	秋葉原・鉄道博物館へ行ってみよう！ 陸・海・空のあらゆる乗り物の実物や模型を集めた博物館です。

「おやしの会」は
今年もやります！

チャリティー コンサート

昨年8月に開催され好評を博したヴァイオリニスト/ジョン・チャヌさんによるチャリティーコンサートを、多くの方のご要望により今年も企画しています。「障がいがある人もない人も生のクラシックを共に楽しむ」、「在日韓国人2世のジョンさんとのふれあいを通じ日韓文化交流をはかる」をテーマに、トムトムのための資金も集められればいいな・・・と思いつつ開催します。し～んと聴くだけのコンサートではありません。ジョンさんの楽しいトークとすてきなヴァイオリン、そして元NHK「歌のお姉さん」の歌で楽しいひとときを共に過ごしましょう。皆さまのご来場、お待ちしております！

日時：2002年7月6日（土）夜7：00開演（6：30開場）

会場：茅ヶ崎市民文化会館 小ホール（茅ヶ崎駅北口より徒歩8分）

出演：ジョン・チャヌ（ヴァイオリン）・鳥居美穂（ピアノ）・木下正子（元NHK「歌のお姉さん」）

曲目：アドレージョン（F.ボロフスキー）・愛の歌（V.ハンニカイネン）・同心草（金聖泰）・ドレミの歌・幸せなら手をたたこう 他（変更になる場合もあります。）

入場料：一般2000円（全席自由）、障がい児・者と付添1名および一般の中学生以下無料。

お申込み方法：事前予約が必要です。

電話&FAX：0467-58-8335（トムトム・担当・本間）へご連絡ください。



01年8月に開催されたトムトムチャリティーコンサートの様子。

「応援する会」は

猛勉強中！

勉強会を 行いました

こんなに人が集まった！～勉強会報告～

「トムトムを応援する親の会」会長 牧野浩子

去る4月26日、茅ヶ崎市農協会館にて、「トムトムを応援する親の会」主催の初めての勉強会が行われました。50人以上の人にお集まりいただき、用意した資料が足りなくなるほどでした。平塚、藤沢から、会員以外の方も多数参加してくださいました。

講師に平塚市障害福祉課の又村さんをお招きし、来年度より開始される支援費支給制度についての勉強をしました。また、制度が始まる前にやっておくべきこと、行政への働きかけについて親どうしが話し合いました。

また機会をみて、このような会を企画していこうと考えています。

「週末の遊び場」オープン！～トム2・解放します～

「事業計画」でもお伝えしたように、今年度より週末に事業所「トム2」を解放します。「トム2」は平屋の一軒家。10畳の洋間には屋内ジャングルジム・トランポリンなどがあり、体を動かして遊べます。8畳の和室は本・ビデオ・テレビゲームなどがあり、ゆっくり過ごせるスペースになっています。広い庭には一人乗りブランコがあり、気温の高い日にはトムトムとっておきのジャンボビニールプールも登場します。バリアフリー建築ではないので使いづらい点もあるかと思いますが、見守りスタッフ1名がいますので介助のお手伝いなどお気軽に声をかけてください。解放日などは以下の通りです。会員の方もそうでない方も、ぜひ週末の遊び場リストに「トム2」を加えてください。

9月の解放日：9月8日（日）・9月22日（日）いずれも13：00～17：00

場所：茅ヶ崎市萩園1602-1「トム2」（「トムトム」のすぐ近くです）

対象：障害のある子ども・大人（保護者同伴が原則です）、遊びや介助をお手伝いくださる方などでも

費用：無料（おやつ代等実費負担はあり）

詳しくはトムトム職員へお問い合わせください！

ボランティアいつもおかげとうございませう！

舩基様・五十嵐様・遠藤様・金子（栄）様・島田様・浅倉様・岩崎様・安田（剛）様・伊藤様・田様・八幡様・中嶋様・渡辺様・福原様・須藤様・山田様・杉崎様・小木曾様・鈴木様・大坂様・西原様・北樹様（順不同）

賛助会員・ご寄付おかげとうございませう！

飯野様・岩崎様・木暮様・マスダ様・中野内様・中島様・青木様・豊岡様・藤田様・竹村様・田様・井口様・土屋様・鈴木様・片山様・トムトムを応援する類の会様・佐田様・大和フリマ有志様・浅倉様・澤田様・市川様・松田様・つるた様・島崎様・大野木様・小澤様・男全様・横山様・五十嵐様・齋田様（順不同）

毎月11日にジャスコ茅ヶ崎店でお買い物したら、トムトムのボックスへ！

毎月11日は、ジャスコの「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」の日。この日にお買い物をすると黄色いレシートが手渡されます。これを茅ヶ崎店1階に設置されているトムトムのボックスに入れると、集まったレシート総額の1%分の助成を、トムトムが受け取ることができます。ご協力お願いいたします。

02年度 賛助会員のご入会・ご更新をお願いします。

緊急

ほとんど耳タコブレースですが、トムトムは非常に厳しい経営状況です。利用料以外の収入の減を殆くなくしては、事業は存続できないのです。皆さまへお願いです。トムトムが実践している新しい福祉サービスの形を、更に地域に根付かせるために、是非とも「賛助会員」という形でご支援ください。賛助会員の会費は年間、個人・団体共に一口3,000円でお願ひしております。会員になられた方には、定期的にトムトム通信をお届けさせていただきます。年会費のお支払いは関係者に直接お渡し頂くか、郵便局よりお振込み頂ければ幸いです。

郵便局振込口座番号：00290-3-47042

口座名義：パーソナルサービスセンター トムトム

〒253-0071

神奈川県茅ヶ崎市萩園1624-2

電話/fax 0467 (58) 8335

携帯電話 090-3087-3220(緊急用)

Email tom-tom@alto.ocn.ne.jp

ホームページもご覧下さい。

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Momiji/8897/index.html>